

# 柳西団地外壁・屋根改修工事 設計図



④ 外壁改修工事 共通事項

① 施工数量調査

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.5.2]

調査内容

(1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。(概ね0.3mm程度)

(2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。

(3) コンクリート表面のがれ及びはく落部を壁面に表示する。

(4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※2部 ○1部

② 改修材料

○既製適合モルタル

保水率 (%)	単位容積質量 (kg)	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
		標準時	湿冷経過後		
70以上	1.80程度	0.60程度	0.40以上	0.20以下	4.0以上

○パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性 (N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ (標準) (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	硬化収縮率 (%)
標準2以上	標準6.0以上	50以上	30.0以上	3.0以下

(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。  
(3) 常温常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したものであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。  
(4) 試験方法は、JIS A 6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂) に準ずる。

○可とう性エポキシ樹脂

比重	押出し性 (秒)	スランプ (mm)	加熱減量 (%)	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	伸び (%)	引張接着性
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	常温物性1.0以上 低温性 1.0以上 加熱劣化1.0以上	常温物性30.0以上 低温性 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張応力 1.0(N/mm <sup>2</sup> )以上 破断時の伸び 10.0%以上

(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。  
(3) 常温常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したものであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用接着剤

適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。

樹脂の種類 変成シリコン樹脂系、ウレタン樹脂系

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	凍結融解	熱劣化
強度 (N/mm <sup>2</sup> )	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率 (%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	0.60以上	0.60以上	0.60以上	0.40以上	0.40以上
伸び (%)	35以上	35以上	35以上	25以上	25以上

貯蔵安定性 質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。  
(一)液形のみ  
混練経緯確認容易性 混練終結時の色が明瞭であること。  
(二)液形のみ  
耐熱性 JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。  
ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。

(1) 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。  
(2) タイル、下地材等を使ってもでないこと。  
(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。  
(4) 常温常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

○エポキシ樹脂モルタル

接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )
1.0以上	20.0以上	10.0以上

(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。  
(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。  
(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。  
(5) 常温常温 (温度20±15℃、湿度65±20%) において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

○ポリマーセメントモルタル

種類	合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢酸系等	
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )
6.0以上	20.0以上	1.0以上

(1) 表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。  
(2) 透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。  
(3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。  
(4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常温において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。

○ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> )	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (変化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> )
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15%以下	5.0以上

保水係数 0.5~0.5  
粘調係数 0.5~1.0

○吸水調整材

全面積 (%)	吸水量 (g)	接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	界面破壊率 (%)
表示値±1.0以内	30分間で1以下	0.60以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

① 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] [表4.6.2-5]

工法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法 ・高圧水洗工法 加圧力 ※50MPa程度	※既存仕上面全体 ○協議による	○ひび割れ部改修工法 ○浮き部改修工法 ○欠損部改修工法
・塗膜はく離工法 ○水洗い工法	※既存仕上面全体 ○協議による ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

塗膜はく離剤の種類 [4.2.2]

② 下地調整 [4.2.2] [4.4]

材料 ○下地調整塗材  
○ポリマーセメントモルタル  
・防水形仕上げ塗材主材を使用

③ 仕上塗材仕上げ [4.1.4] [4.2] [表4.2.3.4]

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S1 ・可とう形外装薄塗材S1 ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ○防水形外装薄塗材E	・ ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ○凹凸状
・複層仕上塗材	・外装薄塗材S ・複層塗材E ・複層塗材S1 ・複層塗材E ・複層塗材E ・可とう形複層塗材E ・複層塗材RS ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐熱性 ※耐熱形3種 上塗材 溶媒 ※水系・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う

○可とう形改修用仕上塗材

・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材E	・平坦な状 ・さざ波状 ・ゆず肌状
--	-------------------------

防火材料の指定 [4.2.2]  
※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

⑤ 建具改修工事

① 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
○アルミニウム製建具	-	-	※建具表による ○図示 清掃
○鋼製建具	○外部	-	※建具表による ○図示 塗装塗り替え
	・内部	-	※建具表による ・図示
・鋼製軽量建具	-	-	※建具表による ・図示
・ステンレス製建具	-	-	※建具表による ・図示

・特殊な建具の仮組 (建具符号: ) [5.1.5]

2 見本の製作等 [5.1.7]

3 防犯建物部品 [5.1.7]

4 アルミニウム製建具 [5.2.2] [表5.2.1]

性能等級等

外部に面する建具

種別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み (mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5	-	-	-	-
・C種	S-6	A-4	W-5	100	-

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 ( )  
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 ( )  
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) [5.2.4] [表5.2.2]

表面処理

外部に面する建具  
※B-1種 ・B-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)  
屋内建具  
※C-1種 ・C-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)

網戸 [5.2.3]

防虫網の種類 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)  
形式 ※外部可動式 ・固定式

5 鋼製建具 [5.3.2] [表5.3.1] [5.3.2] [表5.2.1]

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

6 鋼製軽量建具 [5.4.2]

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

7 ステンレス製建具 [5.3.2] [表5.3.1] [5.3.2] [表5.2.1] [5.5.4] [5.5.5]

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による  
外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による  
表面仕上げ ※HL ・鏡面  
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強あり)

8 木製建具 [16.6.2] [表16.6.3]

かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( )  
ふすまの上張り  
※新鳥の子又はビニル紙程度 (挿入等の裏面は除く) ・鳥の子  
建物内部の木製建具に使用する表面材 (合板) 及び接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外 ・第三種

9 建具用金物 [5.6.4] [5.6.4]

鍵  
マスターキー ※製作する ・製作しない  
鍵箱  
市販品  
形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

10 自動ドア開閉装置 [5.7.2.3] [表5.7.1-3]

ドアの種類	センサーの種類
※スライディングドア 種類 ・SD-1 ・SD-2 ・SD-1 ・SD-2 ・スイングドア 種類 ・SD-1 ・SD-2	・マトロイスイッチ ※光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能便所スイッチ

・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による) [5.7.3]

11 自閉式上吊り引戸装置 [5.8.2]

材料 ※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの  
・製造所標準仕様による  
性能 ※改修仕様 5.8.3による  
・製造所標準仕様による [5.8.3] [表5.8.1]

12 重量シャッター [5.9.2]

シャッターの種類	性能
・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防塵シャッター	耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup> 耐風圧性能 ( ) N/m <sup>2</sup>

開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 [5.9.2] [表5.9.1]  
危険防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) [5.9.2]  
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.9.2]

13 軽量シャッター [5.10.2] [表5.10.1] [5.10.3]

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)  
スラット 材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
又はJIS G 3318 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)  
・鋼板  
形状 ※インターロッキング形 ・オーバラッピング形 [5.10.4]  
ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) [表5.10.2]  
耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup> [5.11.2.3]

14 オーバーヘッドドア [5.11.2.3]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 (SUS304)

耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup>

15 ガラス [5.12.2] [表5.12.1] [表5.12.1]

板ガラスの種類、厚さは建具表による [5.12.2]  
・ガラスブロック [5.12.5]

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	防火認定
・正方形 ・長方形	-	-	※クリア ・熱線反射 ・乳白色 ・カラー ( )	※なし ・あり

ガラス留め材 [5.12.2] [表5.12.1] [表5.12.1]

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket (FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。

板ガラスをほめ込む大きさ [5.12.3]

改修仕様5.12.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は (社) 日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1
高規格 A 5799による			

6 内装改修工事

7 塗装改修工事

① 材料 [7.1.3]

建物内部に使用する場合のホルムアルデヒド放散量  
※☆☆☆☆ ・第三種  
建物内部に使用する塗料の材質 ・水系  
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・次の箇所を除き防火材料とする。(施工箇所: ) [7.1.3]

② 下地調整 [7.2.1] [表7.2.1-1]

既存塗膜の除去範囲 (塗替えでR8種の場合)  
※塗替え面積の30% ・図示

下地調整の種別等 [7.2.1-1] [表7.2.1-1]

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新規	
木部	※R8種	・R4種 ・R8種	
鉄鋼面	※R8種	R4種	
垂れめっき鋼面 (鋼製建具を除く)	※R8種	R4種	
垂れめっき鋼面 (鋼製建具)	※R8種	R4種	
モルタル面、プラスチック面	※R8種	・R4種 ・R8種	・行う
コンクリート面、ALCパネル面 (H-E、H-F、H-Gの場合)	※R8種	・R4種 ・R8種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板面 (H-E、H-F、H-Gの場合)	-	・R4種 ・R8種	・行う
せつこうボード面、その他ボード面	※R8種	・R4種 ・R8種	

③ 錆止め塗料塗り [7.3.1.3] [表7.3.1-4]

錆止め塗料塗りの種別等			
塗装面	塗料種別	工程種別	備考
鉄鋼面	屋外	※A種 ・B種	※C種
	屋内	・A種 ・C種	※C種
垂れめっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種
		C種	※C種
	新規 (鋼製建具を除く)	※A種 ・B種	・A種 ・B種
	新規鋼製建具	※A種 ・B種	A種

記事	年月日	工事名称 柳西団地外壁・屋根改修工事	図面番号 A-03
	縮尺 NS		

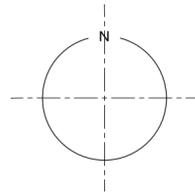
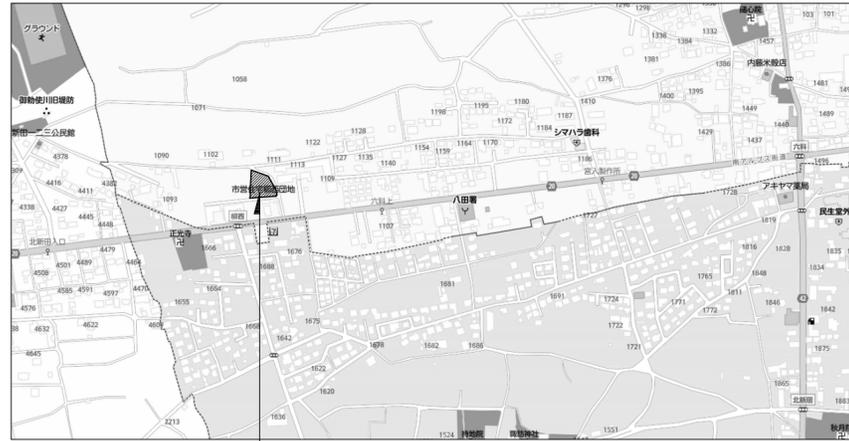
塗装の種類	塗装面	工 程	
		塗替え	新 規
・合成樹脂顔合ペイント塗り (SP)	木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具を除く)	※B種 ※B種 ※B種	※A種 ・A種・B種 ※B種
・クリヤラッカー塗り (DL)	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内亜鉛めっき鋼面	※B種 ※B種 ※B種	・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種
○アクリル樹脂系水分散系塗料 塗り (MD)	屋内コンクリート面	※B種・A種	※B種・A種
・アクリル樹脂エナメル塗り (AE)	屋外コンクリート面 屋外モルタル面	※B種 ※B種	・A種・B種 ・A種・B種
・2液ポリウレタンエナメル 塗り (2-UE)	屋外鉄鋼面 屋外亜鉛めっき鋼面 屋外コンクリート面	・ ・ ・A種・B種	A種 ・A種 ・A種・B種
・アクリルシリコン樹脂エナメル 塗り (2-AE)	屋外鉄鋼面 屋外亜鉛めっき鋼面 屋外コンクリート面 屋外押出成形セメント板面	※B種 ※B種 ※B種 ※B種・A種	A種 A種 ・A種 ※B種・A種
・常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル 塗り (2-FUE)	屋外鉄鋼面 屋外亜鉛めっき鋼面 屋外コンクリート面 屋外押出成形セメント板面	・ ・ ・A種・B種 ・A種・B種	A種 A種 ・A種・B種 ・A種・B種
・つや有合成樹脂エマルション ペイント塗り (EP-G)	屋内木部 屋内鉄鋼面 屋内亜鉛めっき鋼面 コンクリート面 モルタル面・プaster面 せつこうボード面 その他ボード面	※B種 ※B種 ※B種 ※B種 ※B種 ※B種 ※B種	・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種
・合成樹脂エマルションペイント 塗り (EP)	コンクリート面 モルタル面・プaster面 せつこうボード面 その他ボード面	※B種 ※B種 ※B種 ※B種	・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料 塗り (EP-T)	屋外のコンクリート 面・モルタル面 プaster面・せつ oughボード面等	※B種 ※B種 ※B種	・A種・B種 ・A種・B種 ・A種・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・オイルステイン塗り (OS)	木部		
・マステック塗材塗り A種及びC種の凸面処理 ・行う ・行わない	コンクリート面 押出成形セメント板面 モルタル面 ALCパネル面	・ ・ ・ ・	・A種 ・ ・ ・
・耐水性塗料塗り (DP)	鉄面 屋外亜鉛めっき鋼面 コンクリート面 押出成形セメント板面	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	鉄面 屋外亜鉛めっき鋼面 コンクリート面	・ ・ ・	・ ・ ・

① アスベスト含有建材の 処理工事	分析によるアスベスト含有の調査
	分析によるアスベスト含有の調査 ○行う (採取箇所) ○外壁軒天等塗装吹付部分及びモルタル撤去部 ※図示
	調査方法 材料名 調査方法 (1材料当たりの試料数) ※定性分析 (※3) ・ ・ 定量分析 (・3) ・ ※定性分析 (※3) ・ ・ 定量分析 (・3) ・ ※定性分析 (※3) ・ ・ 定量分析 (・3) ・
	分析方法 ※JIS A 1481 (建材製品中のアスベスト含有率測定方法) による 分析結果については、監督職員に報告すること 報告書の様式 ・ (社) 日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」
	アスベスト粉じん濃度測定 (3.1.1) ○行う (測定箇所 ※図示) 測定時期、場所及び測定点数
	適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点数 (各処理作業ごと) 備 考 ・ 測定1 処理作業前 処理作業室内 各 ( ) 点 ・ 測定2 処理作業前 施工区画周辺 又は敷地境界 計2点 ・ 測定3 処理作業前 処理作業室内 各 ( ) 点 ・ 測定4 処理作業中 セキュリティゾーン 入口 各1点 空気の流れを確認 ・ 測定5 処理作業中 負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合) 各1点 除じん装置の性能確認 ・ 測定6 処理作業中 施工区画周辺 又は敷地境界 4方向各1点 ・ 測定7 処理作業後 処理作業室内 各 ( ) 点 ・ 測定8 撤去前) 施工区画周辺 又は敷地境界 4方向各1点
	(1) 施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置場等を含む本処理工事に直接又は間接的に係る区画、施工区画周辺とは、その区画境界の前後1m以内の範囲をいう。 (2) 処理作業室の面積が50㎡以下の場合には点、300㎡までは点とする、300㎡を超えるような場合は、監督職員と協議する。
	測定方法 JIS K 3850-1 (空気中の繊維状粒子測定方法-第1部: 光学顕微鏡法及び差圧電子顕微鏡法) による。 種類 ※位相差顕微鏡法 試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法として使用し、他方はその結果が高い場合 (10本/L以上) に行う位相差・分散顕微鏡法に用いる。 ※位相差、分散顕微鏡法 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
	測定記録項目 (1) 除去するアスベスト含有建材の種類 (2) 測定点の位置の図面 (3) 測定日時、天候、気流 (4) 試料採取条件 (5) 標本作製方法 (6) 使用顕微鏡の種類 (開口数を含む) (7) 計数条件 (HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む) (8) 繊維数濃度 (位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスベスト繊維数濃度) (9) 定量限界 (10) その他
	アスベスト含有吹付け材の除去 (レベル1) ・行う (3.1.3) 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準9.1.3(b)(i)~(iv)による ・集塵装置付グラインダーケレン (剥離剤併用) 工法 除去したアスベスト含有吹付け材等の処理 ※密封処理 (二重袋梱包) ・セメント固化 除去対象範囲 ※図示 作業場の隔離 ・行う ・行わない
	アスベスト含有保温材等の除去 (レベル2) ・行う (3.1.4) 除去対象範囲 ※図示
	アスベスト含有成形板の除去 (レベル3) ・行う (3.1.5)
	断熱材の種類 (3.2) 種類 発泡剤の種類 ホルムアルデヒド放射による区分 厚さ (mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・硬質ウレタンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・フェノールフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・ロックウール ・ F☆☆☆☆等級 ・ ・グラスウール ・ F☆☆☆☆等級 ・
	外装材の種類 (3.2) 種類 防火性能 ・ ・
	既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし (3.2.3) 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造時の指定する仕様 (3.2.4) 透気層 ・あり ( mm) ・なし (3.2.4) 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 (3.2.4) 特記なき事項は、製造所の仕様による。

2 外断熱改修工事	断熱材の種類
	種 類 発泡剤の種類 ホルムアルデヒド放射による区分 厚さ (mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・硬質ウレタンフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・フェノールフォーム保温材 ・ A種 G F☆☆☆☆等級 ・ ・ロックウール ・ F☆☆☆☆等級 ・ ・グラスウール ・ F☆☆☆☆等級 ・
	外装材の種類 (3.2) 種類 防火性能 ・ ・
	既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし (3.2.3) 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造時の指定する仕様 (3.2.4) 透気層 ・あり ( mm) ・なし (3.2.4) 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 (3.2.4) 特記なき事項は、製造所の仕様による。

3 ガラス改修工事	復層ガラスの厚さ 建具表による (3.4.2) 復層ガラスの断熱性・日射減へい性による区分 ※U3-1 ・ U3-2 (3.4.2)
4 断熱・防露改修工事	断熱材の種類 (3.2.3) 種 類 発泡剤の種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 G ・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・保温板2種b A種 G ※一般部 ・保温板3種b (スキム層付き) ※25 ・ 接合部分 ・硬質ウレタンフォーム保温材 ※A種 G ・吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種 G 難燃性を有するもの ※15 ・ 一般部
5 屋上緑化改修工事 G	植栽基盤及び材料 (3.6.1.2) ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示 工法 (3.6.3) かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 ・行う 路床の構成及び厚さ (3.7.3) ・遮断層 厚さ (mm) ※150 ・凍上抑制層 厚さ (mm) ※150 ・フィルタ層 厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※ 50 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 添加材料の種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( ) 添加量 ( ) kg/m <sup>3</sup> (目標CR ※5以上) ・ ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 90N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5×10cm/sec以上 盛土の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G 遮断層及び凍上抑制層の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込砂利 ・砂 厚さは図示 発生土の処理 ※構外搬出適切処理 ・構内指定場所に敷均し ・構内指定場所に堆積 ・構内指定場所に処分 (搬出調査等を監督職員に提出する) 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う ・行わない 路床の軟固め度試験 ※行う ・行わない 砂の粗度試験 ※行う ・行わない
6 透水性アスファルト舗装改修工事	路盤材料 ・再生クラッシャーラン G (3.7.4) ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G 路盤厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※100 路盤の締固め度試験 ※行う ・行わない 舗装材料及び厚さ (3.7.5.6) 車道部 ※改質アスファルト I 型 厚さ (mm) ※50 歩道部 ※ストレードアスファルト 厚さ (mm) ※30 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない (3.7.8)
7 PCB含有シーリング材処分	・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材及びPCB含有分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇所数 計 箇所 ・除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書」(日本シーリング工事業共同組合連合会・日本シーリング材工業会) による

B 耐震改修工事 共通事項

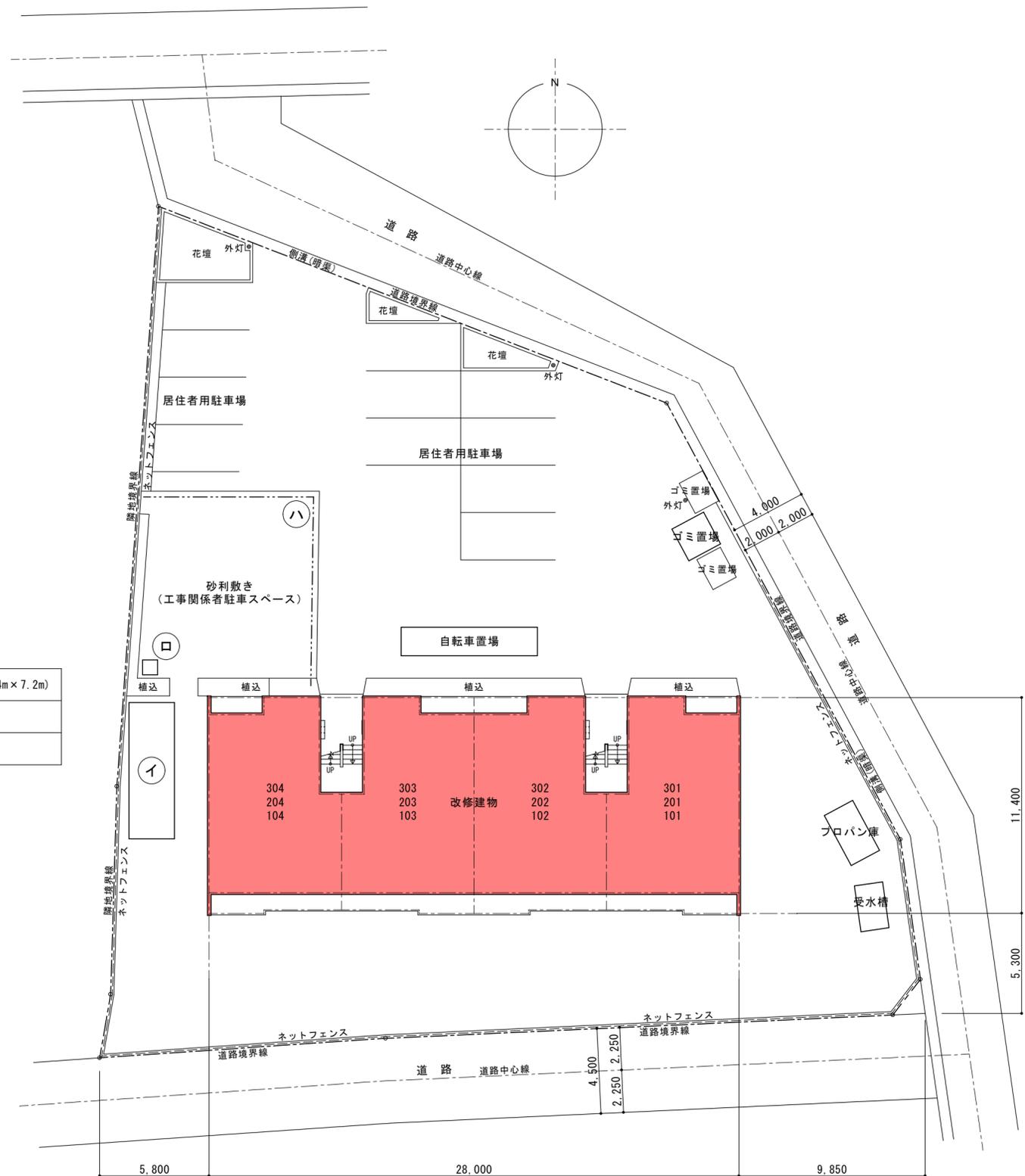


位置  
南アルプス市六科地内

付近見取図 S=1:8000

仮設建物凡例

- イ 監督員兼用現場事務所 (ユニットハウス 2.4m×7.2m)
- ロ 便所 (汲み取り式)
- ハ 単管ウマバリケード



配置図 S=1:200

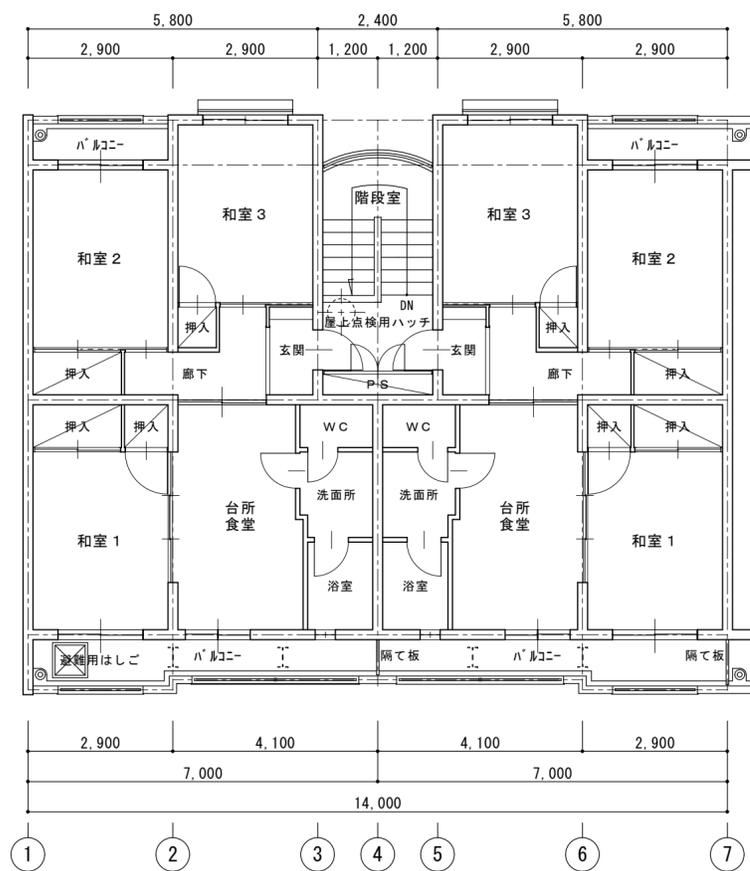
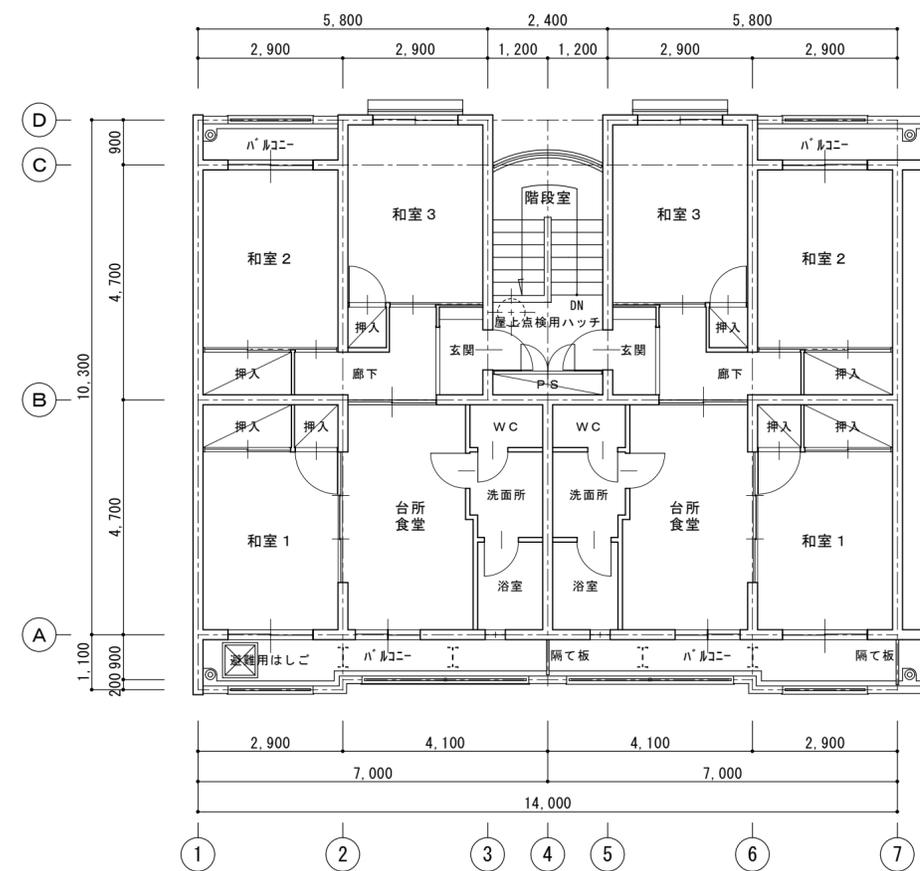
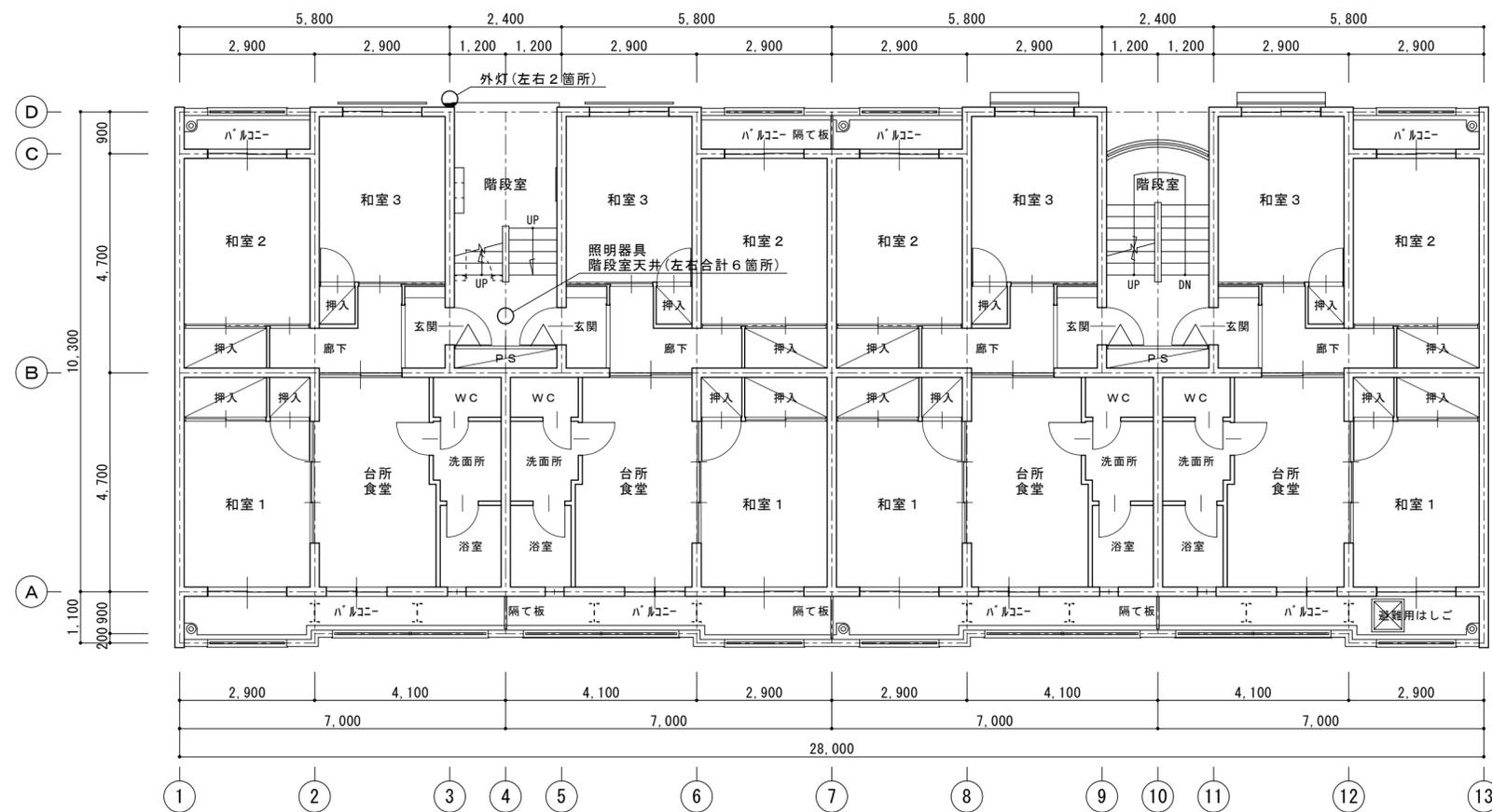
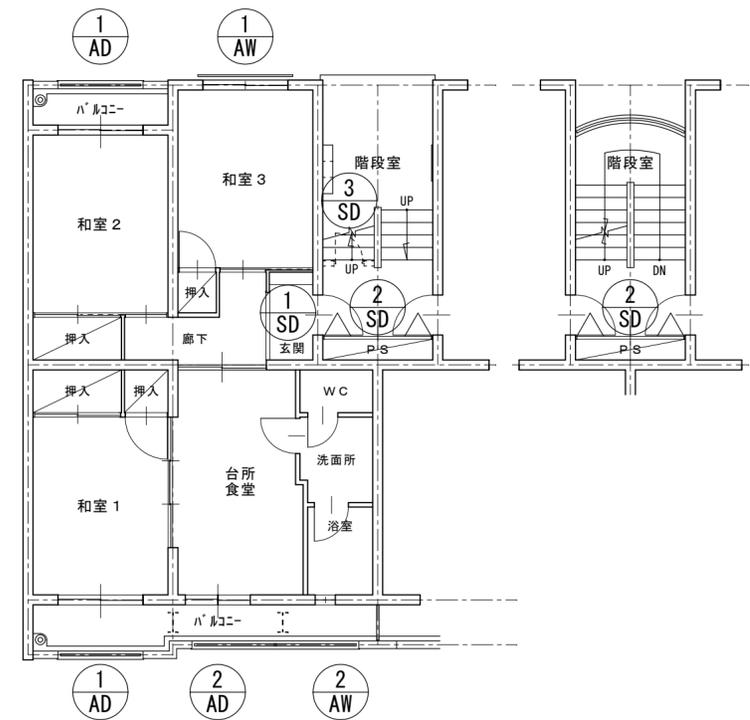
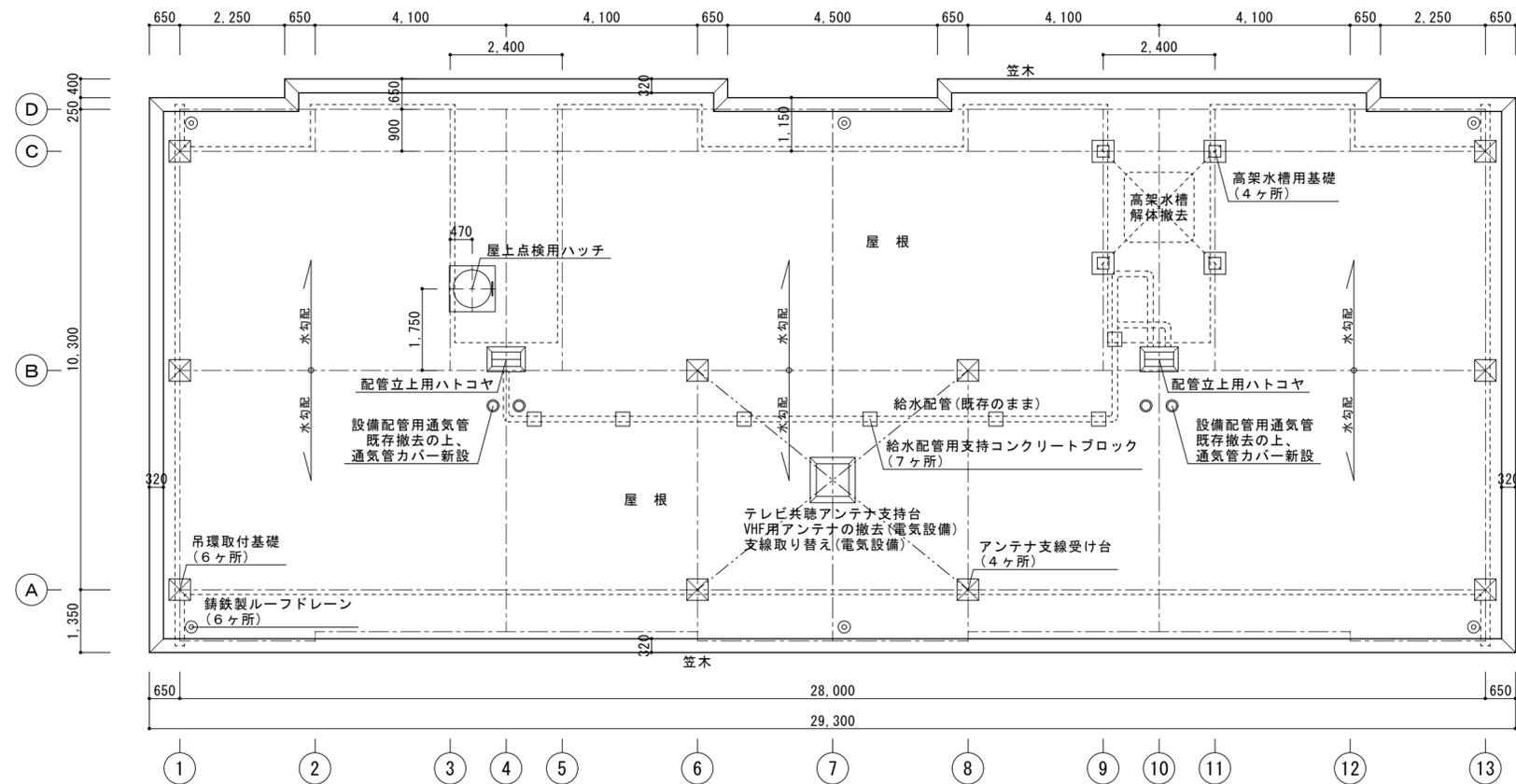
記 事					年月日	工事名称 柳西団地外壁・屋根改修工事	図面番号 A-05
					縮尺 S=1:8000, 200	図面名 付近見取図・配置図	

場所	既存	改修	
屋根	平場部	合成ゴムシート防水 t=1.2mm張り (S-F1) 高分子防水層表面仕上げ材塗布	下地調整の上、断熱材硬質ウレタンフォーム t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法 (S1-M2) 脱気装置付
	バラベツト立上り部	同上	防水シート撤去、下地調整の上、塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm張り 接着工法 (S-F2)
	笠木	防水モルタル金ゴテ仕上 W=300	水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)
	各種架台部	シート防水の上、高分子防水層表面仕上げ材塗布 及び防水モルタル金ゴテ仕上	水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)
	屋上点検用ハッチ	鑄鉄製丸型 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
	設備配管用通気管	鑄鉄製丸型 樹脂系塗装	既存撤去の上、GRC製通気管カバー新設
	テレビ共聴アンテナ	VHF用及びUHF用アンテナ	VHF用アンテナの撤去(電気設備) 支線取り替え(電気設備)
	高架水槽	鑄鉄製 樹脂系塗装	解体撤去 給水配管は既存のまま
外壁	一般壁	モルタル刷毛引きの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性)	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材
	妻壁	コンクリート打放しの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性)	同上
	バラベツト	同上	同上
	窓水切り	防水モルタル金ゴテ仕上	水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)
軒天	コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材	
窓庇	上端	防水モルタル金ゴテの上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)	水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)
	下端、側面	下端：軒天と同、側面：外壁と同	下端：軒天と同、側面：外壁と同
基礎	外巾木	モルタル刷毛引	水洗い(高圧水)・下地調整の上、NAD塗装
	床下換気口	鑄鉄製 420×170	クリーニング
バルコニー	床・巾木	防水モルタル金ゴテ仕上	下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水(スプレー工法)
	手摺壁(外側)	コンクリート打放しの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性)	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材
	手摺壁(内側)	同上	同上
	天井	コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付 1階床裏面は仕上無し	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+セラミック変性 シリコン系単層弾性仕上材 1階床裏面は既存のまま
	笠木	防水モルタル金ゴテ仕上	水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)
	隔て板	枠：鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 パネル：石綿板 t=5mm 巾有り合成樹脂エマルジョンペイント塗装	枠：下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 パネル：下地調整の上、NAD塗装 避難ステッカー：150×400 新設(杉田エース 213-643同等品)
	避難用はしご	ステンレス製	クリーニング
	物干し金物	丸鋼及びプレート造 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
	鋼製手摺	鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装

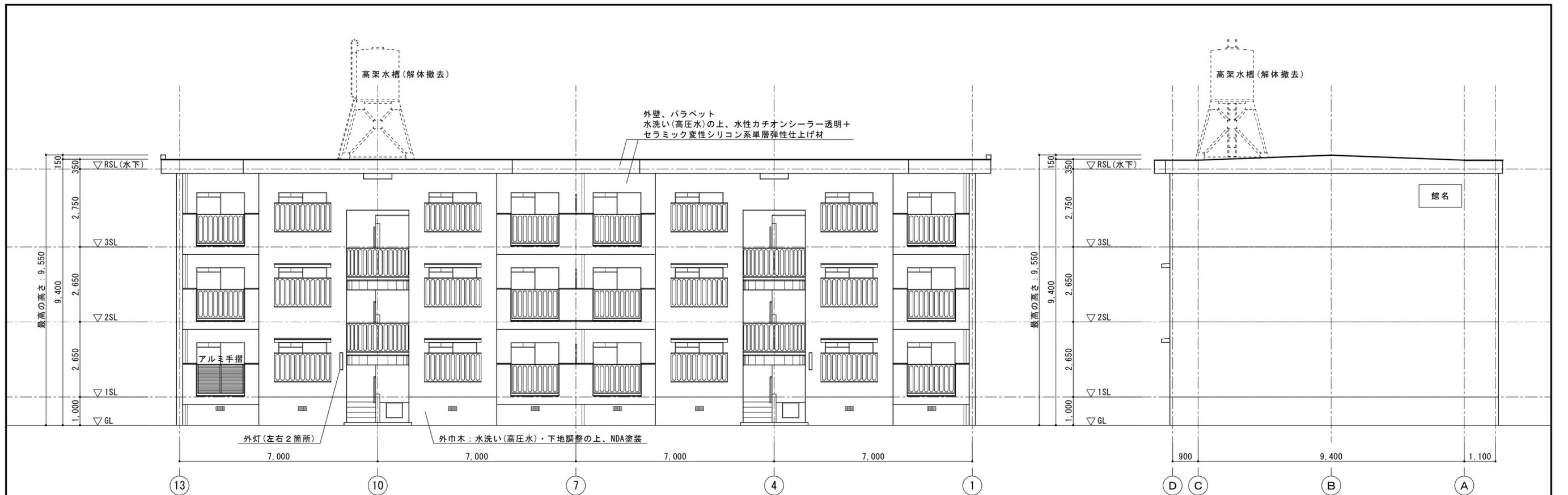
場所	既存	改修	
階段室	床・巾木	防水モルタル金ゴテ仕上	水洗い(デッキブラシ)
	腰壁・手摺壁	モルタル金ゴテの上 ツヤ有り合成樹脂エマルジョンペイント塗装	水洗い(高圧水)・下地調整の上、NAD塗装
	壁	モルタル刷毛引の上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性)	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材
	手摺壁笠木	防水モルタル金ゴテ	水洗い(デッキブラシ)
	天井	コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付(最上階共)	水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材
	踊り場手摺	鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
	階段手摺		クリーニング
		1. 玄関ドア・PS点検扉 ・床下点検扉・タラップ 2. 室名札 3. 牛乳受 4. 集合郵便受 5. 掲示板 W=720, H=410	1. 鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 2. ステンレス製 3. 塩ビ製 4. ステンレス製 5. 掲示クロス貼り
樋	1. ルーフドレン 2. フロアドレン 3. 笠樋	1. 鑄鉄製 φ75用(縦型、横引型共)タールエポキシ樹脂塗装 2. 鑄鉄製 φ75用 タールエポキシ樹脂塗装 3. 硬質塩化ビニル管 VUφ75 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	1. 既設ドレン撤去 改修用ドレン新設 塩ビ製 φ75用(縦型・横引型共) 2. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 3. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
その他	1. アルミ製サッシ・ガラス 2. 東妻面配電盤類 3. 衛生バラボラアンテナ 4. 両妻壁団地番号 5. PS内部		1. クリーニング(外部見え掛りのみ) 2. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 3. バラボラの衛生バラボラアンテナを一時取外し、再設置 再設置後受信調整 (工事前の受信状態までは保証しない。) 4. 文字入れ(現状文字と同じ) 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 5. 清掃

※外壁等事前調査	○外壁改修工事に先立ち、全面打診等によりクラック、モルタルの浮き、欠損等の調査を行う。 ○不良部分は、マーキング・計測を行い、図面記入を行う。(調査図作成・提出) ○不良箇所の是正範囲、是正方法は、原則下記による。ただし監督員と協議の上、決定するものとする。 ・クラック補修：0.3mm以上のクラックはUカットの上、シール材充填工法(0.3mm未満は塗装処理) ・モルタル浮き：ポンド ビンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・爆裂・錆だれ部：鉄筋ハヅリ出し、ケレン・防錆処理、プライマー処理の上、ポリマーセメント補修 ○アスベスト含有調査を行う。(外壁、軒天、モルタル撤去部) ※アスベストが含有していた場合は、監督員と協議し決定する。
※参考仕上材 ※監督員と協議の上、決定する。	○セラミック変性シリコン系単層弾性仕上材：DANシリコンセラS(日本ペイント)同等品 ○1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料：1液ファインウレタンU100(日本ペイント)同等品 ○NAD塗装：ケンエース(日本ペイント)同等品 ※塗装回数及び1回当たりの塗装量等は、メーカー標準施工要領による。  ○塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定断熱工法(S1-M2) 脱気装置付：リベトルーフMIH-SGM15NU(アーキヤマデ)同等品 ○超速硬化ウレタン塗膜防水(スプレー工法)：オルタックスプレーOTL-200-SP(田島ルーフィング)同等品

記 事							年月日	工事名称	図面番号
							縮尺 NS	柳西団地外壁・屋根改修工事	A-06
								図面名	仕上表

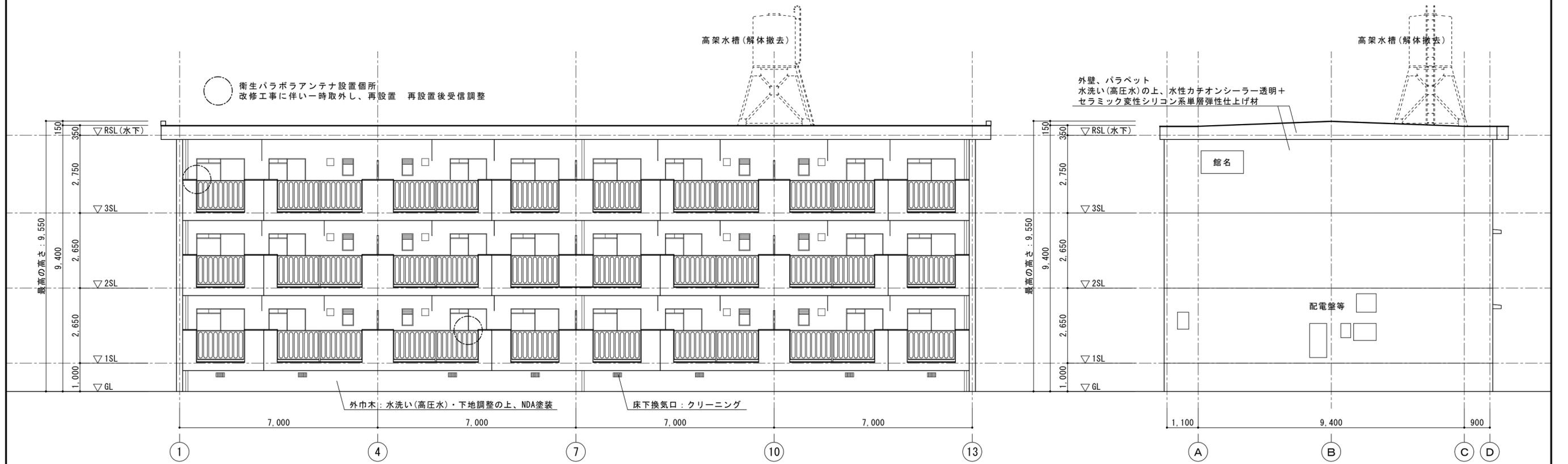


記 事	年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1:100	図面名	A-07
		平面図・屋根伏図・建具リスト	



北側立面図 S=1:100

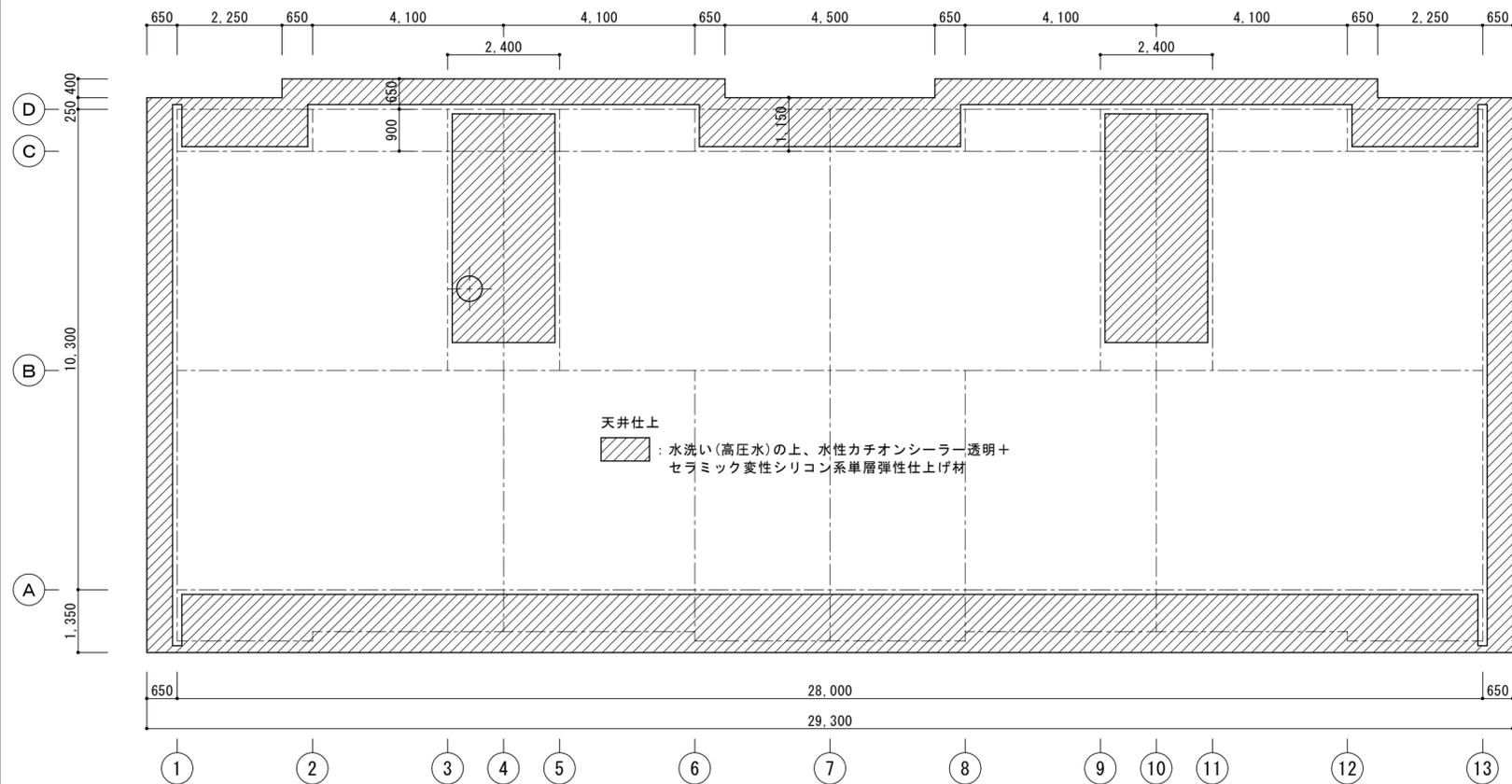
西側立面図 S=1:100



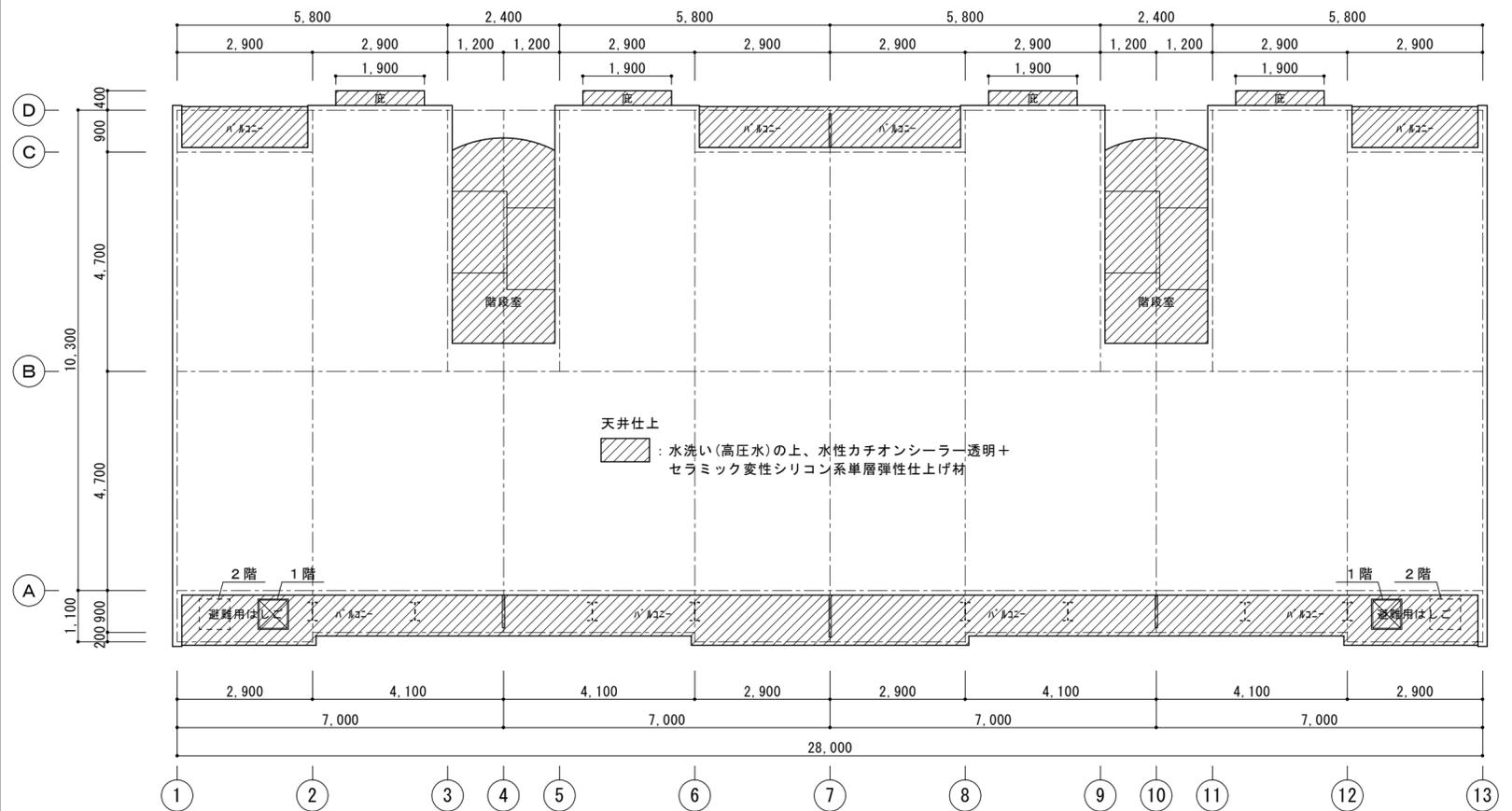
南側立面図 S=1:100

東側立面図 S=1:100

記 事						年月日	工事名称	図面番号
						縮尺	図面名	A-08
						S=1:100	立面図	



3階天井伏図 S=1:100



1・2階天井伏図 S=1:100

天井仕上  
 : 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材

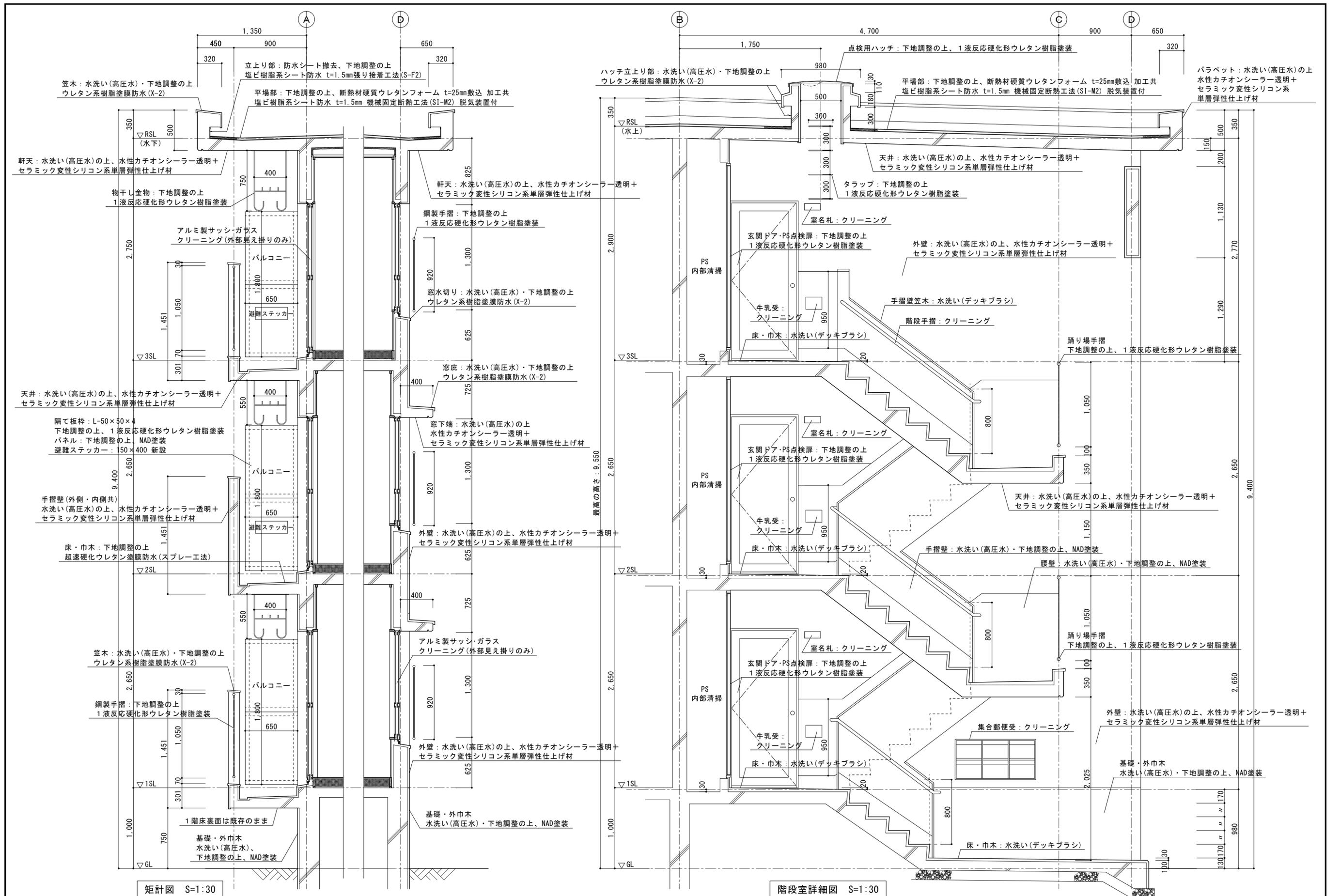
天井仕上  
 : 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明+セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材

建具表 S=1:50

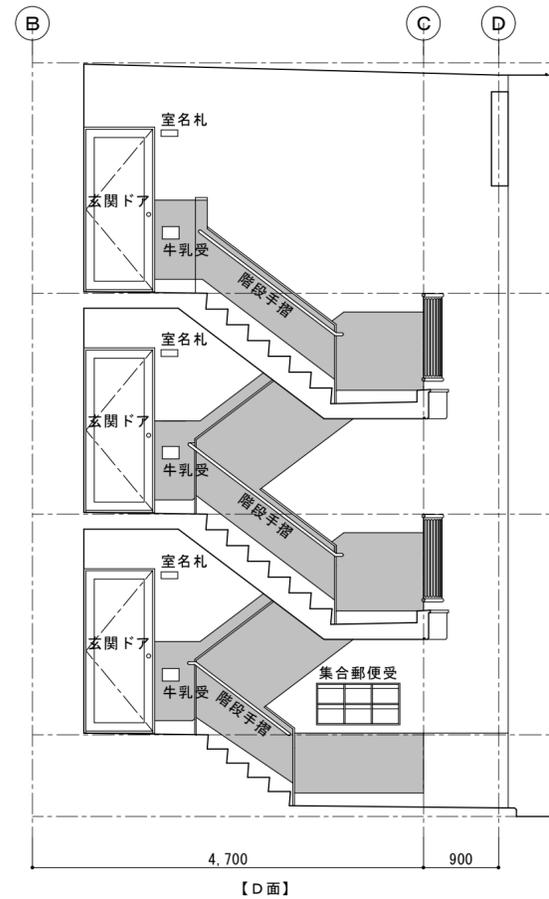
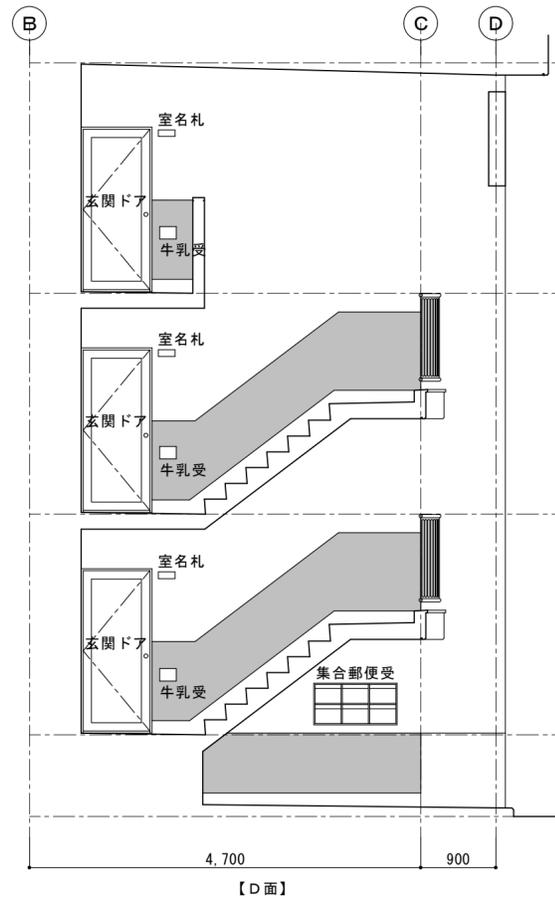
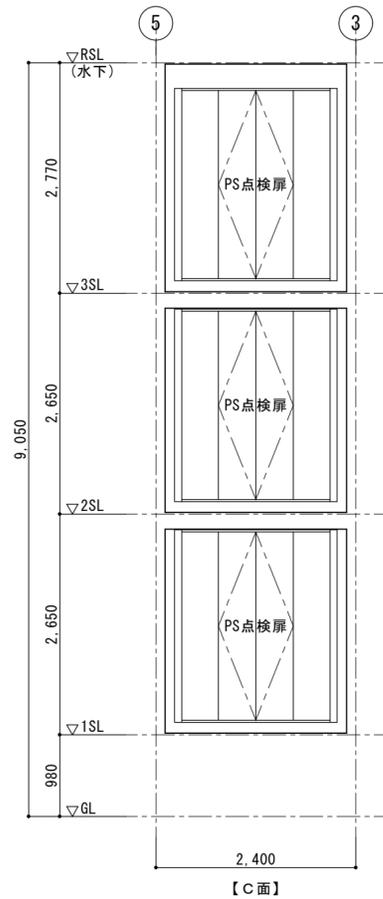
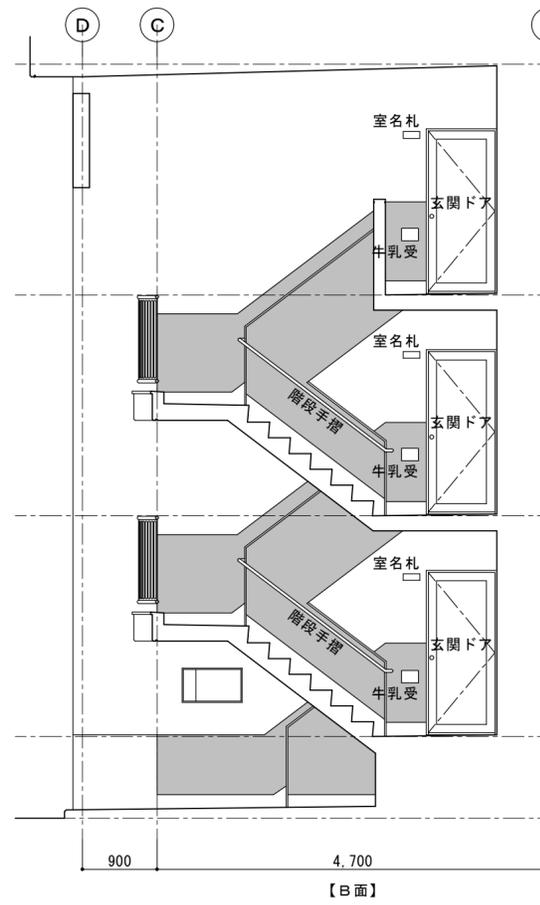
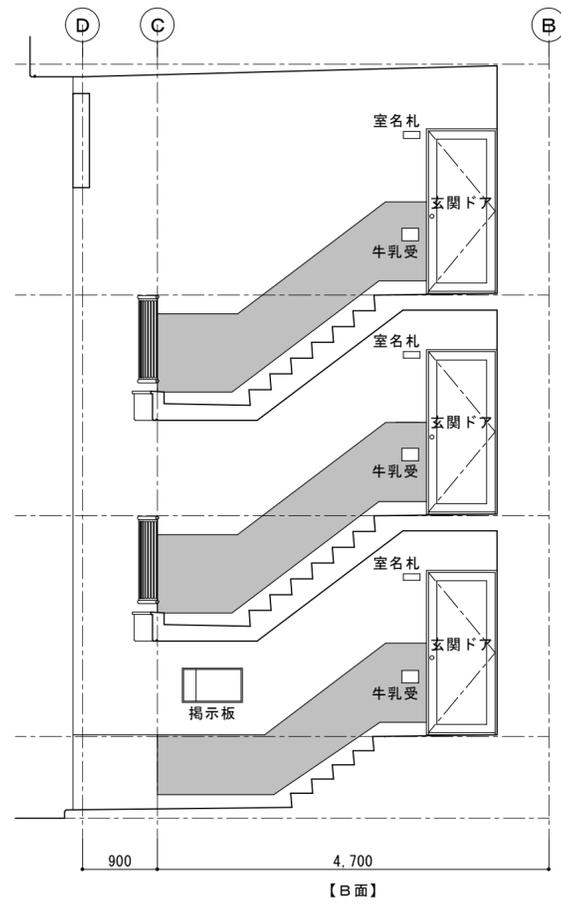
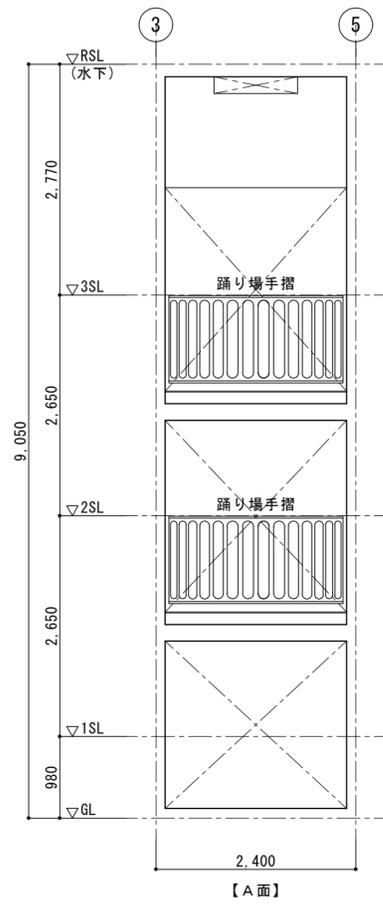
符号・室名・数量	① AD 和室 1・2・24ヶ所	② AD 台所食堂・12ヶ所
姿図		
改修内容	ガラス、アルミサッシクリーニング(見え掛り)	ガラス、アルミサッシクリーニング(見え掛り)
符号・室名・数量	① AW 和室 3・12ヶ所	② AW 浴室・12ヶ所
姿図		
改修内容	ガラス、アルミサッシクリーニング(見え掛り)	ガラス、アルミサッシクリーニング(見え掛り)
符号・室名・数量	① SD 玄関・12ヶ所	② SD PS・6ヶ所
姿図		
改修内容	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装(見え掛りのみ)	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装(見え掛りのみ)
符号・室名・数量	③ SD 階段下・2ヶ所	
姿図		
改修内容	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装(見え掛りのみ)	

記	
事	

年月日	工事名称	図面番号
	柳西団地外壁・屋根改修工事	A-09
縮尺	図面名	
S=1:100.50	天井伏図・建具表	



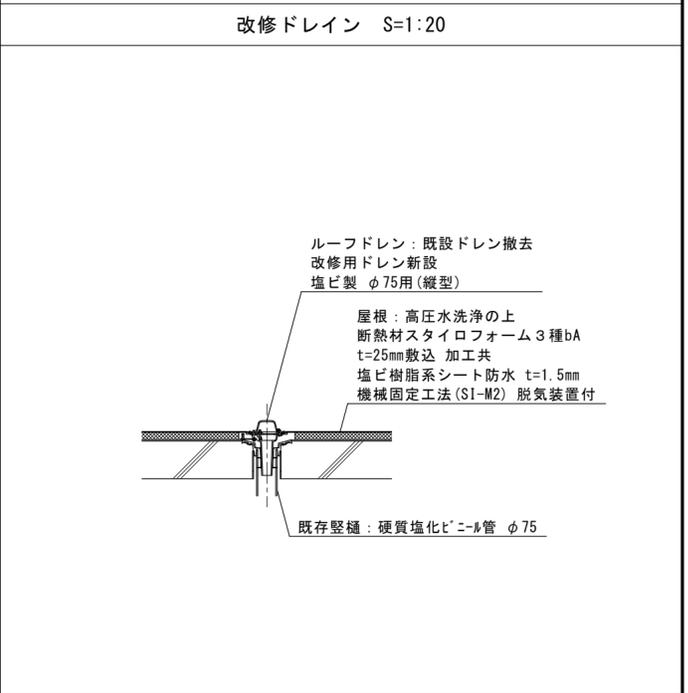
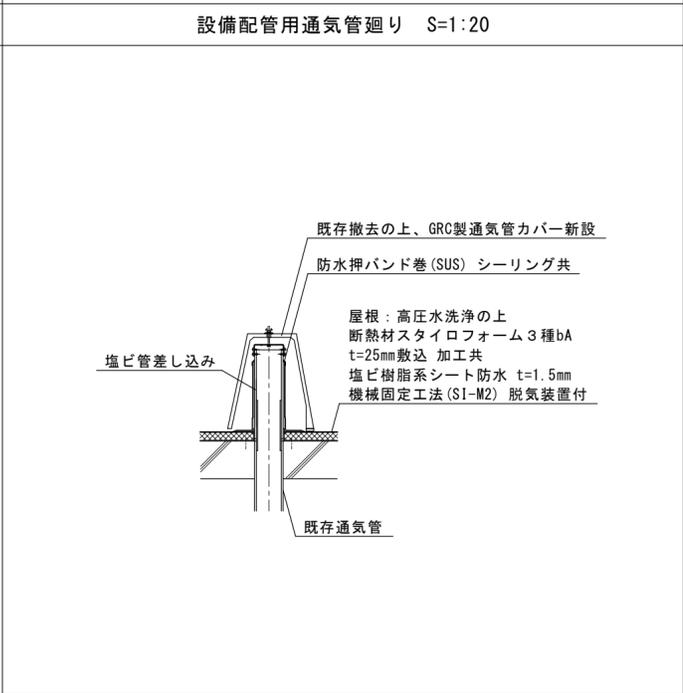
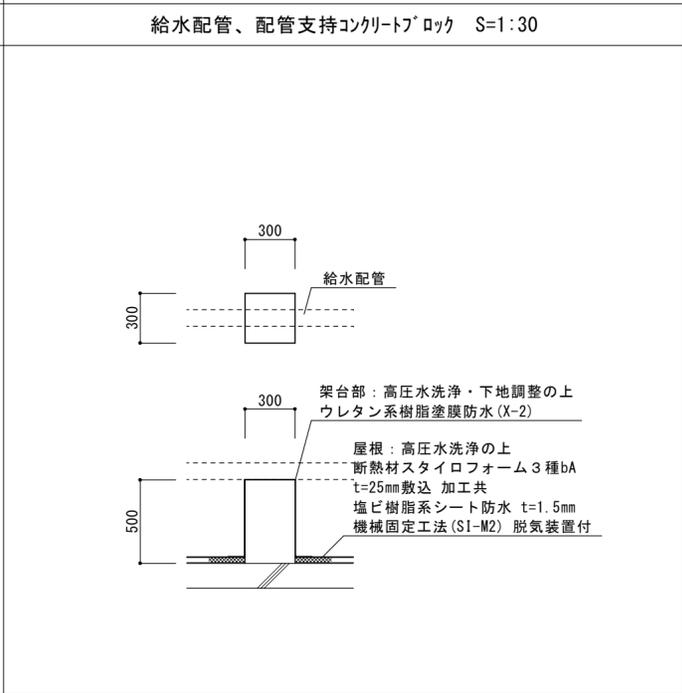
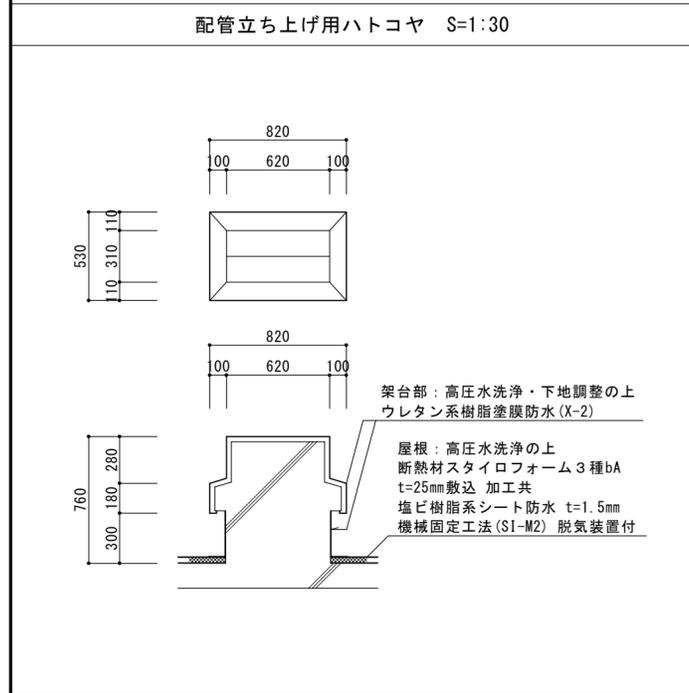
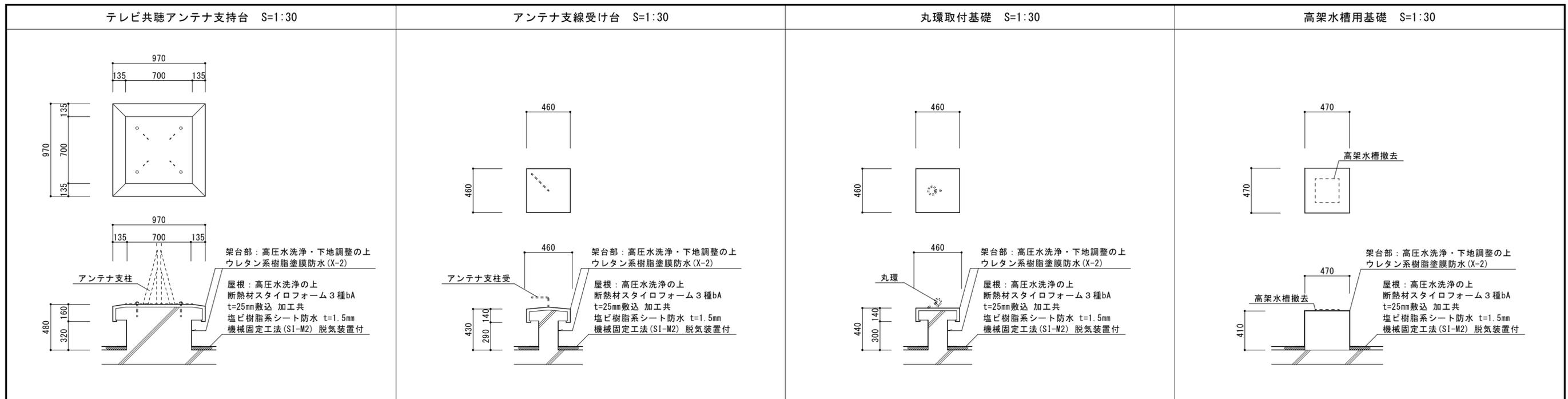
記 事	年月日	工事名称	図面番号
	縮尺 S=1:30	図面名	A-10



階段室各部仕上

床・巾木	デッキブラシ洗浄
腰壁・手摺壁	高圧水洗浄・下地調整の上、NAD塗装
外壁	高圧水洗浄の上、水性カチオンシーラー透明＋セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材
手摺壁笠木	デッキブラシ洗浄
天井	高圧水洗浄の上、水性シーラー＋アクリル系リシン吹付
踊り場手摺	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
階段手摺	クリーニング
玄関ドア・PS点検扉	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装
室名札	クリーニング
牛乳受	クリーニング
集合郵便受	クリーニング
掲示板 W=720, H=410	掲示クロス張替え、クリーニング

記  
事



鋼製手摺 S=1:50				
場所・数量	① ST 台所食堂・12ヶ所	② ST 和室1、2・23ヶ所	③ ST 和室3・12ヶ所	④ ST 階段室・4ヶ所
図面				
改修内容	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装	下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装

## 電 気 設 備 特 記 仕 様 書

工 事 名 称 柳西団地外壁・屋根改修工事  
 工 事 場 所 南アルプス市 六科地内  
 建 物 概 要 鉄筋コンクリート造 3階建て  
 工 事 項 目 1 電 気 設 備 一 式

施 工 基 準 本工事は下記により完全に施工するものとする。  
 ◎ 電気設備技術基準 ◎ 消防法  
 ◎ 内線規程 配電規程 ◎ その他関係政省令  
 ◎ 建築基準法 ◎ 監理監督員（以下監督員という）の指示事項

一 般 事 項 1 本設備工事は、当該建築物に本事項および施工基準に従い電気設備の一式を施工するもので、技術的に完全に行うと共に各申請手続きも遅滞なく 請負者が代行し、これらに要する費用は全て本工事に含むものとする。  
 2 本設計図書は、工事の概要を示すものであるから施工者は、着工前に充分なる理解の上、速やかに実施工程表及び、施工図面、承諾図面等を提出し 監督員の承諾を得るものとする。  
 3 監督員と協議のもとに行う軽微な変更については請負金額の増減を行わないものとする。  
 4 図面に指示なくも技術上、構造上、及び美観上当然必要と認められるものは請負者負担において、良心的に行うものとする。  
 5 その他細部については、監督員の指示による。

凡 例 図中特記なきシンボル等は J I S - C - 0 3 0 3 - 0 0 に準拠。（細目は、平面図等による。）

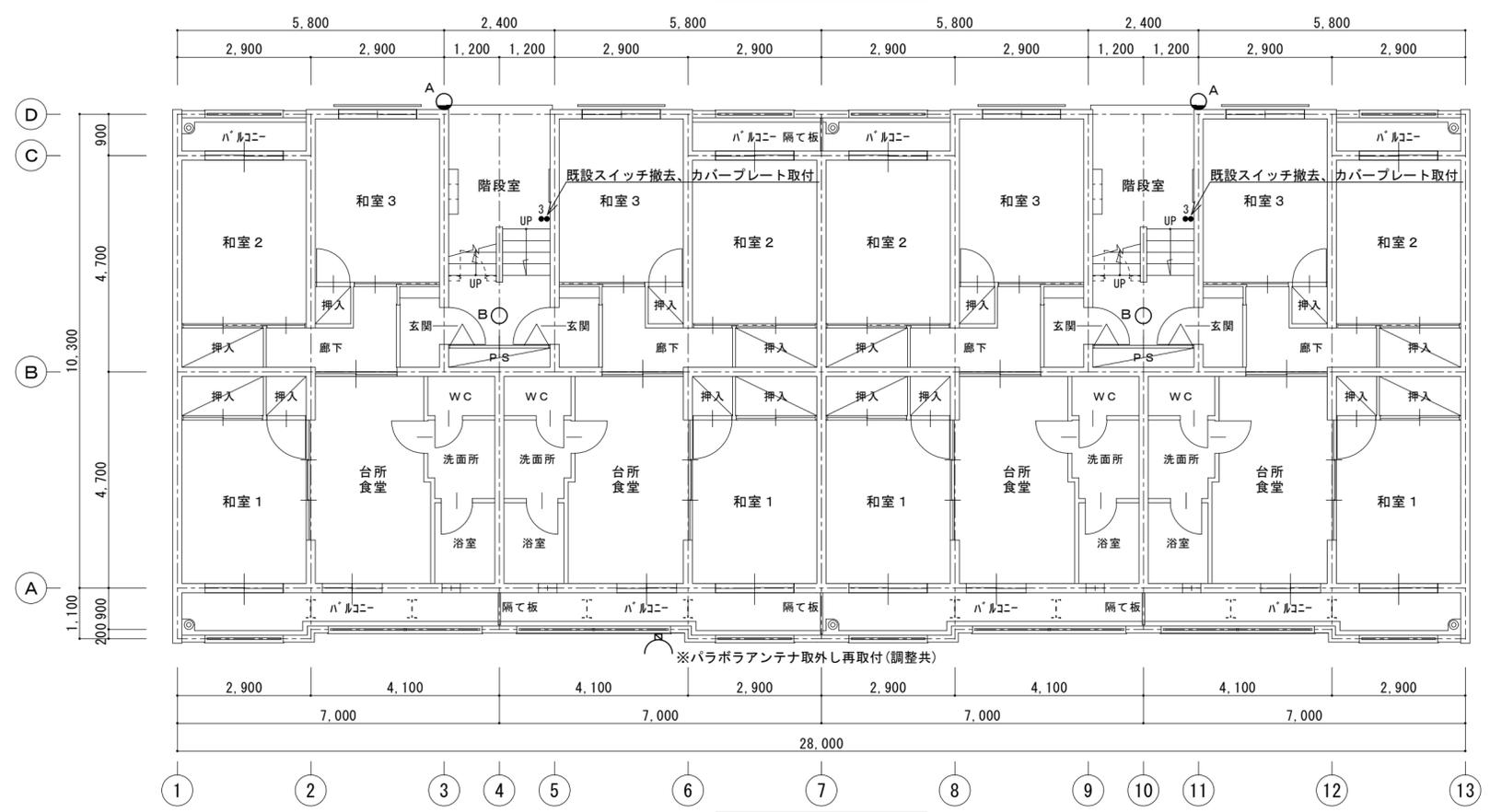
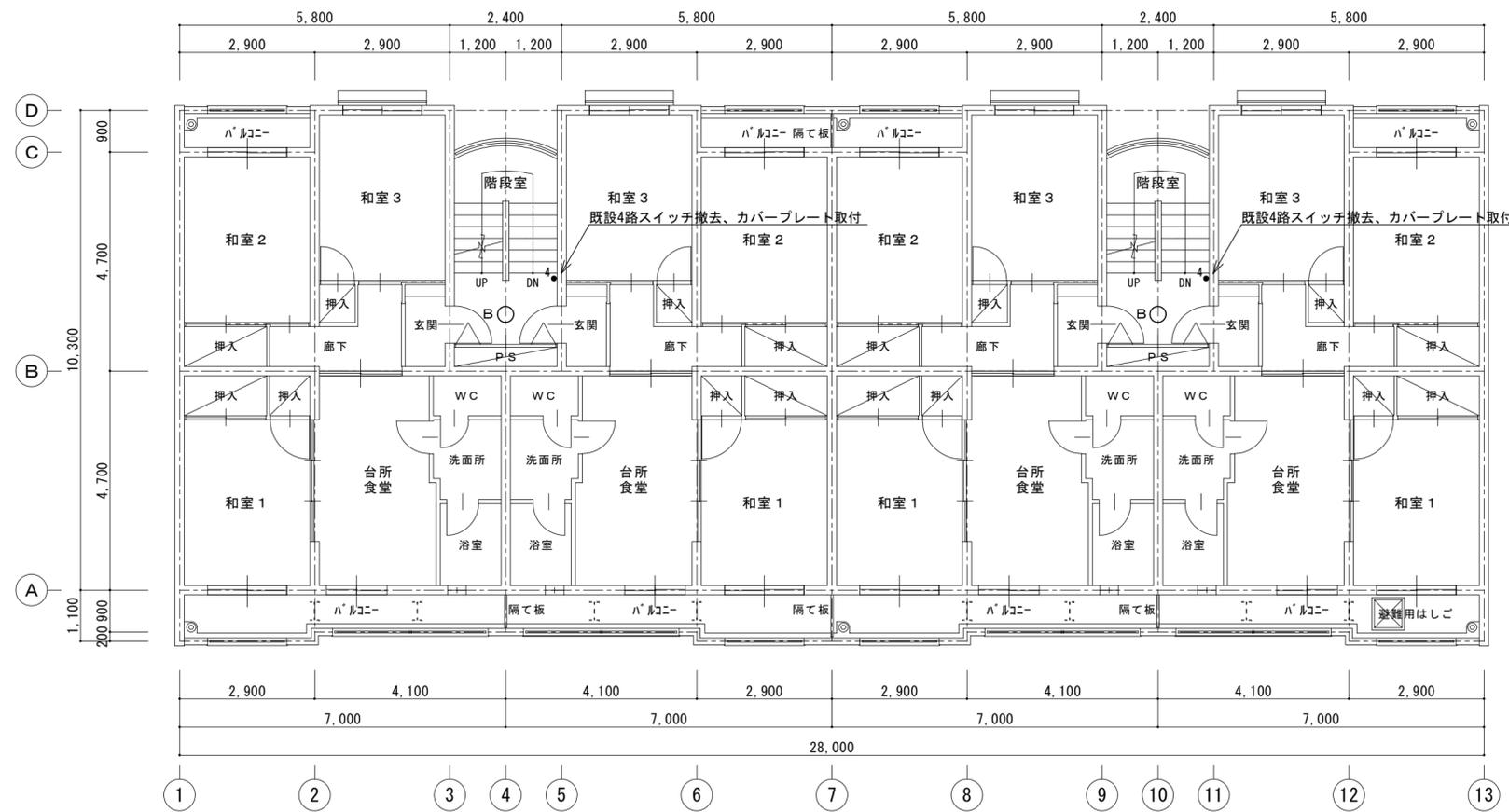
特 記 事 項 ◎ 原則として、特記なきスイッチの高さは F L + 1 2 0 0 ~ 1 3 0 0、コンセントは F L + 3 0 0（和室：200）とする。  
 ◎ 重量の大きい照明器具、天井扇等はスラブその他構造体より呼び径9mm以上のボルトなどで堅固に支持する。  
 ◎ 天井内ケーブル配線は、1m以内ごとに支持材にて支持すること。  
 ◎ Fケーブル類の整線のための結束は5本以下とする事。  
 ◎ 配線器具は、J I S 大形運用とし、プレートは樹脂製とする。  
 ◎ 各種カバープレートには、その用途を表示すること。  
 ◎ 屋外に使用するプルボックス、支持金物及びビス類はステンレス製を使用すること。

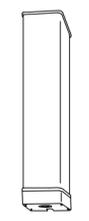
### メ ー カ ー リ ス ト

機 材 名 称	製 造 業 者 名				
電線管・付属品	J I S 規格品及び J I S マーク表示品				
電線・ケーブル類	J I S 規格品又は J C M A マーク表示品				
照明器具	パナソニック	東 芝	三 菱		
配線器具	パナソニック	東 芝	神 保		

（上記以外は監督員の承諾を得ること）

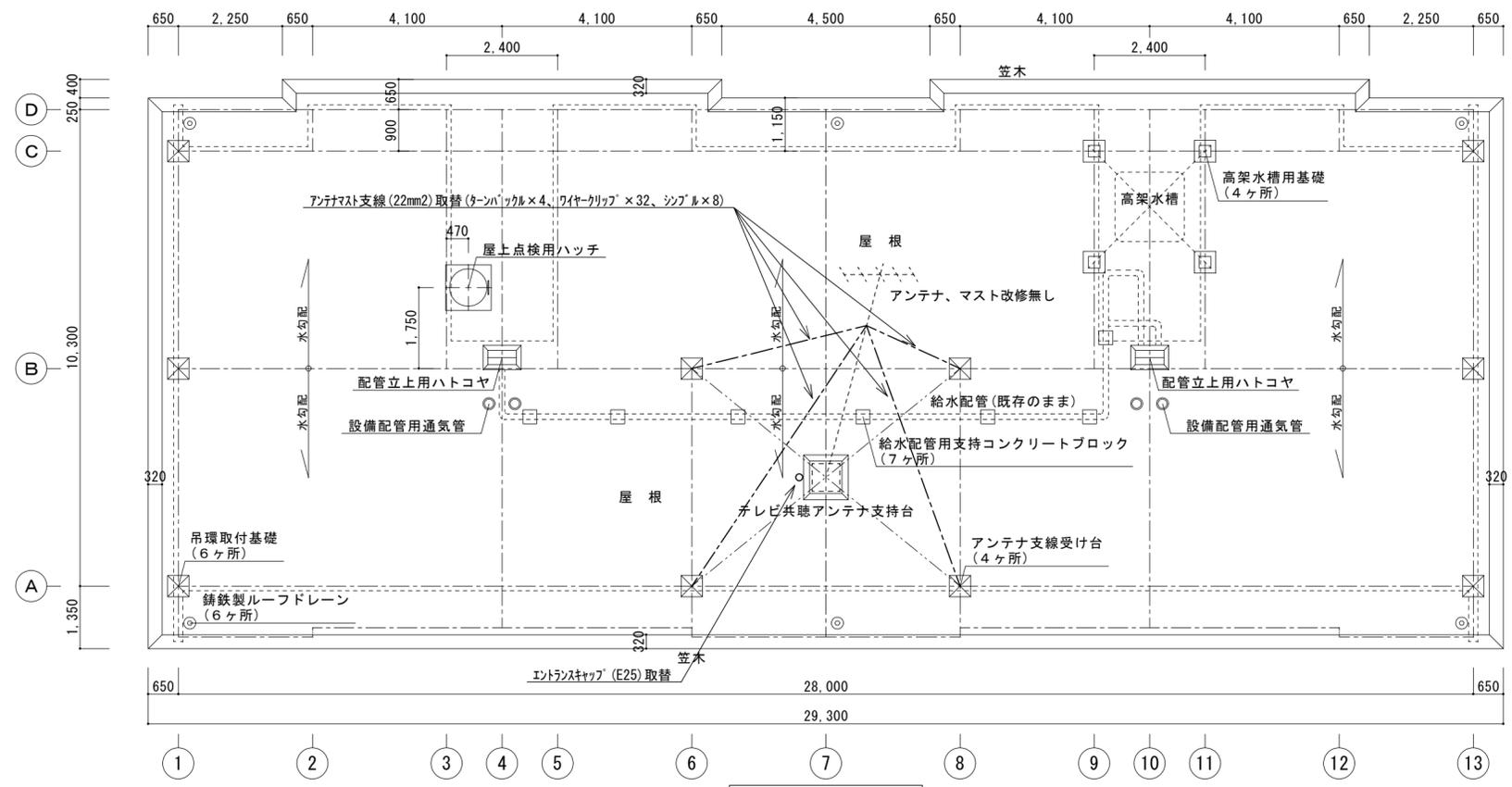
記 事								年月日	工事名称 柳西団地外壁・屋根改修工事	図面番号 E-01
								縮 尺 N S	図面名 電気設備特記仕様書	



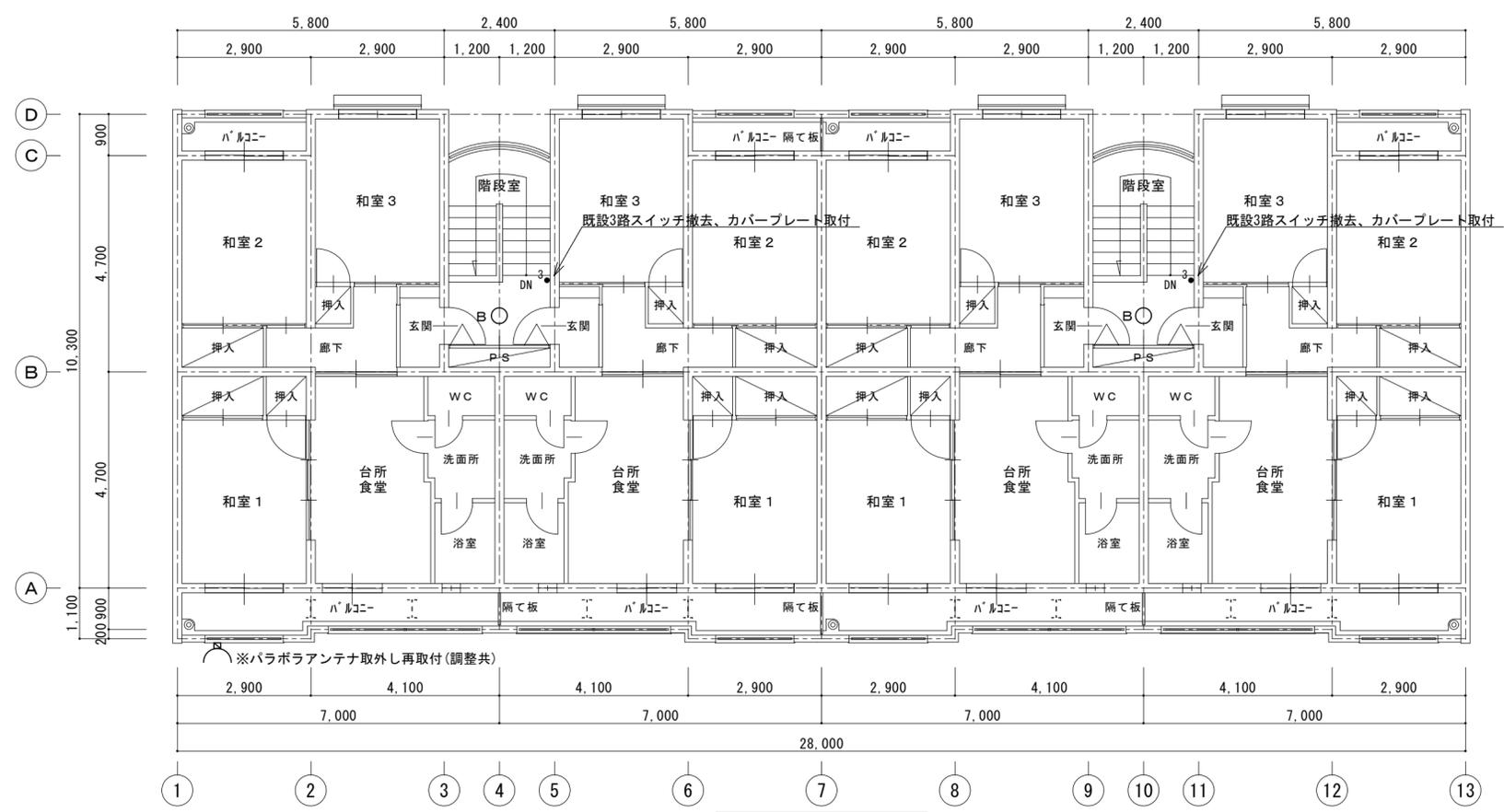
A	LEDウォールライト 20形
	1390LM 3000K 段調光タイプ
パナソニック NNFS21872CLE9	
	
防雨型、ひと（熱線）センサ・Eセンサ付（約30-100%段調光） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）	
B	シーリングライト 60形電球1灯器具相当
	500LM 2700K 段調光タイプ
パナソニック LGWC51553LE1	
	
防雨型、点灯照度調整機能付、段調光省エネ型（約20-100%段調光） カバー：プラスチック（ブラチナメタリック）	

- ※工事概要
- 照明器具は既設器具撤去、新設とする。
  - 階段スイッチは撤去とし、カバープレート取付とする。
  - 屋上テレビアンテナマストの支線を更新する。
  - 屋上テレビアンテナのエントランスキャップを取替える。
  - ベランダに設置のバラボラアンテナ2個の取外し再取付を行う。

記 事							年月日	工事名称	柳西団地外壁・屋根改修工事	図面番号 E-02
							縮尺 S=1:100	図面名		



屋根伏図 S=1:100



3階平面図 S=1:100

記 事						年月日	工事名称	図面番号 E-03
						縮尺 S=1:100	図面名	
							柳西団地外壁・屋根改修工事	
							電気設備3階平面図・屋根伏図	